社会新報（岡山版）

2021年11月8日
（総選挙特集）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
TEL03-3553-3731 1部 〒168円・月720円
発行責任者 武本恒夫

岡山市北区辰巳22－103 Tel. 086－242－5510
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail : shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp

選挙結果を受けて

県連合は総選挙で「生存のための政権交代」を掲げ、コロナ禍からのいのちと暮らしの再生のため比例区・社民党の取り組みを強化、選挙区では野党統一候補の再選に向け取り組みました。とくに今回は立憲民主党との合流問題後であり、社民党の存在意義がとわれる選挙でもありました。結果、選挙区で沖縄の平和の1議席を守り抜くことができました。また全国の比例票の得票数も得票率も前回衆院選から増やすことができました。岡山県においても目標を達成することができ、皆さんのご支援と党員・支持者の皆さんの献身的な頑張りに厚く御礼申し上げます。

全体では自公政権の批判票の一部が改憲勢力の維新に流れ、自公維で衆院の3分の2を占めています。今後、平和憲法改悪の動きが強まることが予想されますが、私たちは市民運動などと連携しながら、改憲阻止に向けてがんばっていきます。そして、いのちを守り貧困・格差の解消などの課題の取り組みをすすめます。ますますのご支援を心よりお願いします。

2021年11月3日

社会民主党岡山県連合
代表　宮田 好夫

衆院選・ご支援に感謝

	2021/率	2017/率
岡山	10,669/1.37	7,213/0.92
中国B	52,638/1.69	44,240/1.39
全国	1,018,588/1.77	941,324/1.69

新生社民党 厳しい中がんばる

31日に投開票の衆院選、県連合は県内小選挙区に候補者を持たないため、中国比例選挙（有田ゆうこ・広島1区の重複）を戦った。

比例選挙カーは20日、岡山駅で第一声をあげ、県東北部から鳥取に引継ぎ、島根、山口（除く広島）、再び29・30日、岡山を駆けた。またポスター・公選ハガキ駅頭でのメガホン行動や法定チラシの新聞折込と、全力をあげた。党員・サポータの努力に感謝します。

結果、改選議席1にとどまり前回の比例議席の獲得に届かなかった。しかし、得票数・率とも前回を上回り、来夏の参院選に繋がる頑張りを示すことができた。

写真上は10月30日、選挙戦最終日の訴えをする武本幹事長、玉野市役所前でお客待ちのタクシー運転手から拍手も！

写真上・岡山駅頭で第一声
〃 下・比例区重複の有田候補の第一声（広島にて）

【投稿・哲】 衆院選中の争点 これからの焦点

社民党はコロナ禍で、いのちと暮らしを守る「生存のための政権交代を」訴えた。選挙期間中の訴えでは「もっと身近なインパクトあること」の声に応えながら、注目すべきは維新を加えた改憲勢力3分の2の動きだ。自民が公約隠しの形で述べているのが防衛費の2倍化（GDP2%）だ。すでに違憲の空母を保有、敵基地先制攻撃能力が議論され、世界第3位の超軍事大国日本の姿につながる。社会保障・教育の徹底削減が透けて見える。9条緊急事態条項改憲は、参院選の大きな焦点になろうか

野党統一候補の戦い

政策合意の下、野党統一候補として社民党県連合が推薦した2候補は当落別れることとなった。4区柚木道義候補は立憲・比例当選、2区津村啓介候補は同次点で再選ならず。

2区：津村啓介		惜敗率
次	62,555	77
4区：柚木道義		〃
比	83,859	94

党県連合活動日誌

10／5　市民と立憲野党の打合せ（武本）
10／6　社民党全国幹事長会議（オンライン）
10／9　県連合衆院選・選対会議
10／10　岡山市平和推進協運営委（武本）
　　各支部会議・活動など
10／19　衆院選公示　選挙道具受け取り
10／20　選挙カー運行（県東部・北部）
　　選挙活動中心に（メガホン隊・ポスター・新報号外など）
10／29～30　選挙カー運行（県西部・南部）
10／31　衆院選・投票日

定例学習・読者会

「新報」読者会
11月9日（第2火）18時
辰巳「時事問題懇話会」
11月26日（月末金）18時
※コロナ状況により変更あり
いずれも辰巳・新事務所で

ご案内

11／24（水）党定例街宣
18：00～マツキヨ前

11／27（土）13：30労金ビル
さよなら原発・総会
11／28（日）13：30岡山市勤福会館　岡山市平和交流会

社民党サポーター募集
いまの社民党には、あなたの声が必要です・年会費1000円 オンライン⇒
https://sdp.or.jp/sdp-supporter/

有田ゆうこ後援会から「お礼のごあいさつ」がありました。11月1日付

もの

ノづくりでいわれる言葉に「必要は発明の母」がある。発明は「必要に迫られるからこそ生れる」（故事ことわざ辞典）小欄には少し重いが、人間社会に当てはめたときどうだろうかと考える▼安倍・菅と2代続けて政権放棄を迫ったこととは何か。必要に迫られて生れたのが岸田新首相が発明した「新しい資本主義」ということか▼私たち人間社会は、多くの関係するつながりのなかで回っており、自分勝手や忖度が優先されれば、社会の歯車に軋みが生じよう。新しいものが必要とされるとしても、丁ねいな説明なくして新しいことを掲げても同じ繰り返しでしかない。被害者は国民だ▼「聞く力」が特徴ともいう。しかし為政者に都合の悪いことは「聞き流す」ということを幾度となく経験しているからこそ「説明する力」を問うのである▼それなくしては、新しい外皮も古い外皮に重ね着したに過ぎず、いかにも着心地が悪い。古い外皮は脱ぎ捨てなければならない。新しい装いの3枚目も。（の